

研究名

済生会横浜市南部病院におけるダパグリフロジンによる腎機能への影響

1. 研究の対象

済生会横浜市南部病院において 2021 年 4 月から 2022 年 3 月までにダパグリフロジンが開始された患者

2. 研究目的・方法

選択的 SGLT2 阻害薬であるダパグリフロジンは血糖降下作用、心血管イベントのリスク抑制の他に腎機能悪化を抑制する効果があるものの、投与開始直後、一過性に腎機能悪化の可能性があることが報告されている。対象患者において、ダパグリフロジン投与開始時、投与開始 1 か月後、投与開始 3 か月後の eGFR 推移を調査した。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 加藤 一郎

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問合せください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 奥村 梨央